

環境学習についてのアンケート結果

県では環境学習を推進するための計画(第四次滋賀県環境学習推進計画)の改定に向け、県内の皆様の声を調査する目的で、アンケート調査を実施しました。

★調査時期:令和6年5月下旬～6月上旬

★対象者: 県政モニター300人

★回答者: 県政モニター275人(回答率91.7%)

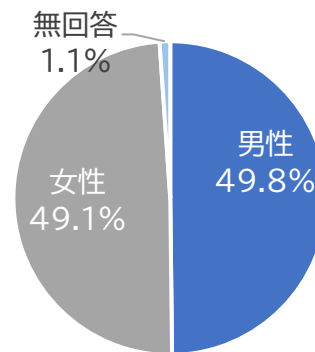
★担当課: 琵琶湖環境部環境政策課

(※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

属性

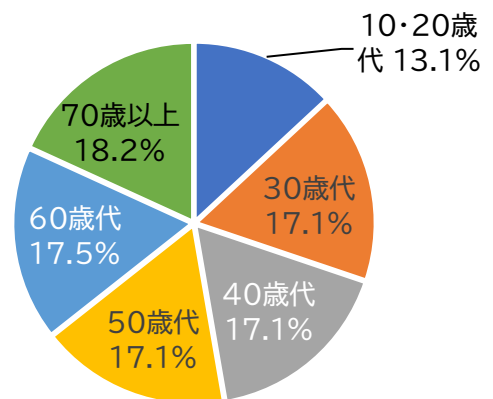
◇性別

項目	人数	割合
男性	137	49.8%
女性	135	49.1%
無回答	3	1.1%
合計	275	100.0%



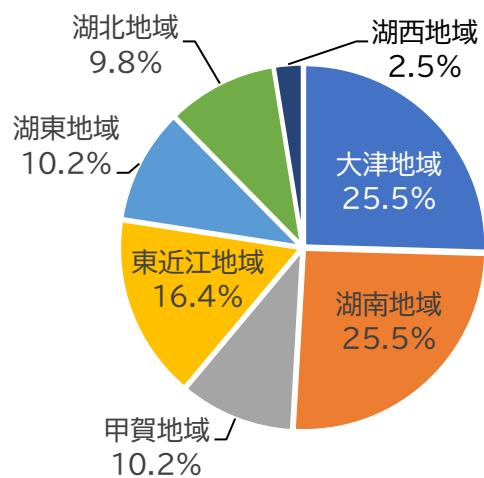
◇年代

項目	人数	割合
10・20歳代	36	13.1%
30歳代	47	17.1%
40歳代	47	17.1%
50歳代	47	17.1%
60歳代	48	17.5%
70歳以上	50	18.2%
合計	275	100.0%



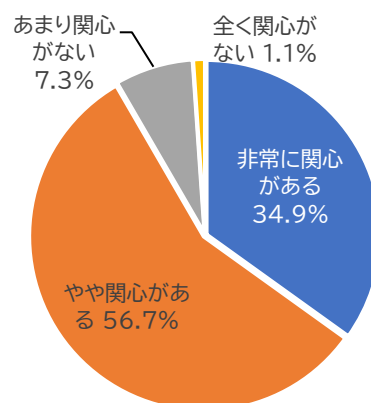
◇地域

項目	人数(人)	割合
大津地域	70	25.5%
湖南地域	70	25.5%
甲賀地域	28	10.2%
東近江地域	45	16.4%
湖東地域	28	10.2%
湖北地域	27	9.8%
湖西地域	7	2.5%
合計	275	100.0%



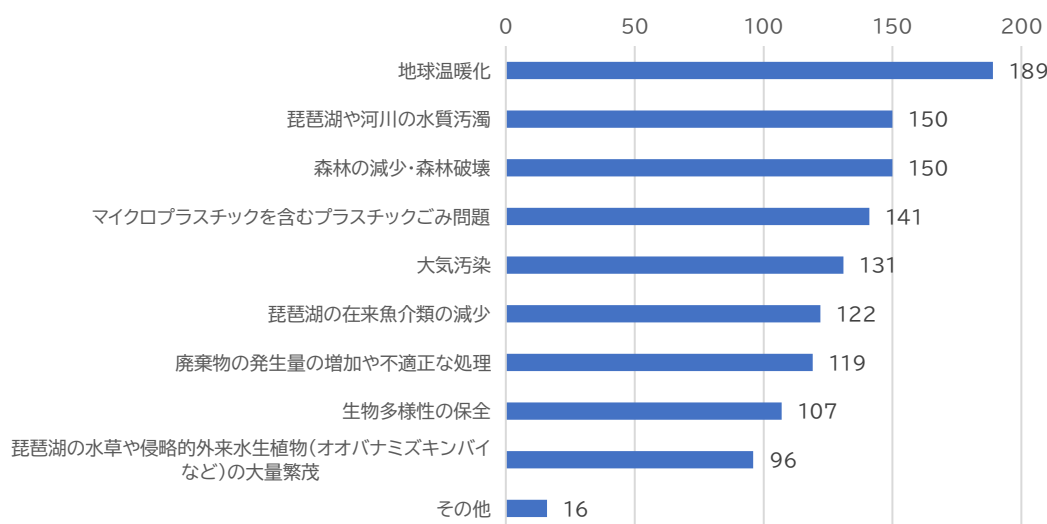
問1. あなたは、環境問題に関心がありますか(n=275)。

項目	人数	割合
非常に関心がある	96	34.9%
やや関心がある	156	56.7%
あまり関心がない	20	7.3%
全く関心がない	3	1.1%
合計	275	100.0%



問2. 問1で「1非常に関心がある」、「2やや関心がある」と回答された方におたずねします。下記の環境問題で関心のあるものを選んでください。(回答チェックはいくつでも n=252)

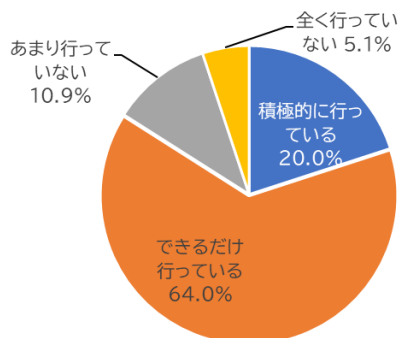
項目	人数(人)	割合
地球温暖化	189	75.0%
森林の減少・森林破壊	150	59.5%
琵琶湖や河川の水質汚濁	150	59.5%
マイクロプラスチックを含むプラスチックごみ問題	141	56.0%
大気汚染	131	52.0%
琵琶湖の在来魚介類の減少	122	48.4%
廃棄物の発生量の増加や不適正な処理	119	47.2%
生物多様性の保全	107	42.5%
琵琶湖の水草や侵略的外来水生植物(オオバナミズキンバイなど)の大量繁茂	96	38.1%
その他	16	6.3%



問3. あなたは、日頃、環境保全行動※を行っていますか(n=275)。

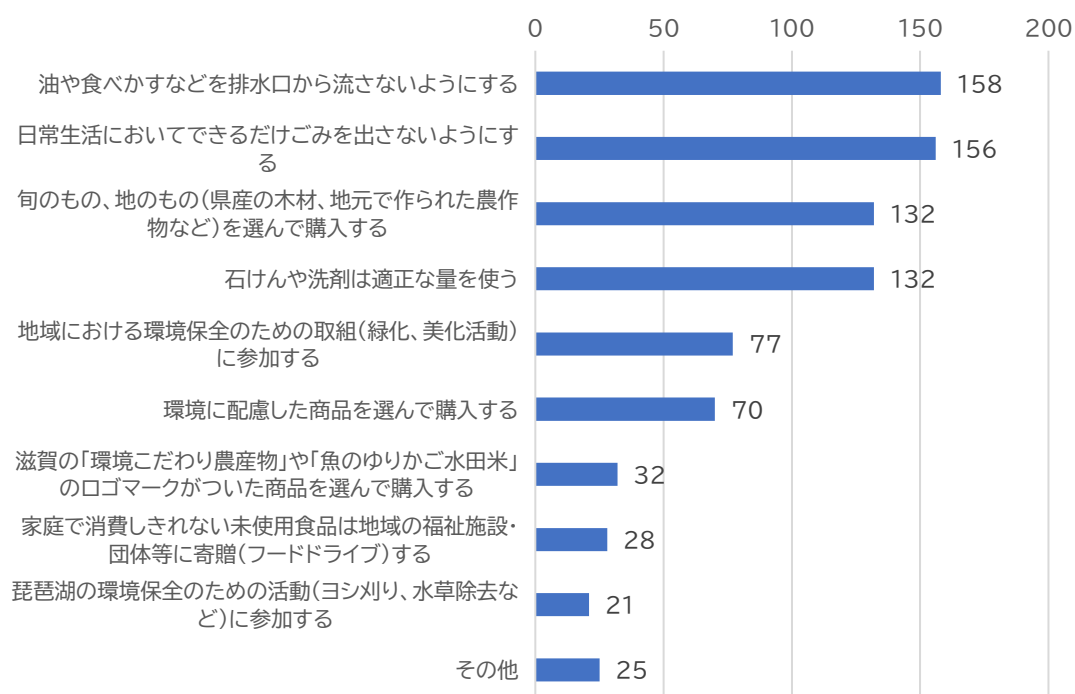
※環境保全行動…マイバック持参、節電、琵琶湖の清掃やヨシ刈り体験参加など、環境保全のために行う行動のこと。

項目	人数	割合
積極的に行っている	55	20.0%
できるだけ行っている	176	64.0%
あまり行っていない	30	10.9%
全く行っていない	14	5.1%
合計	275	100.0%



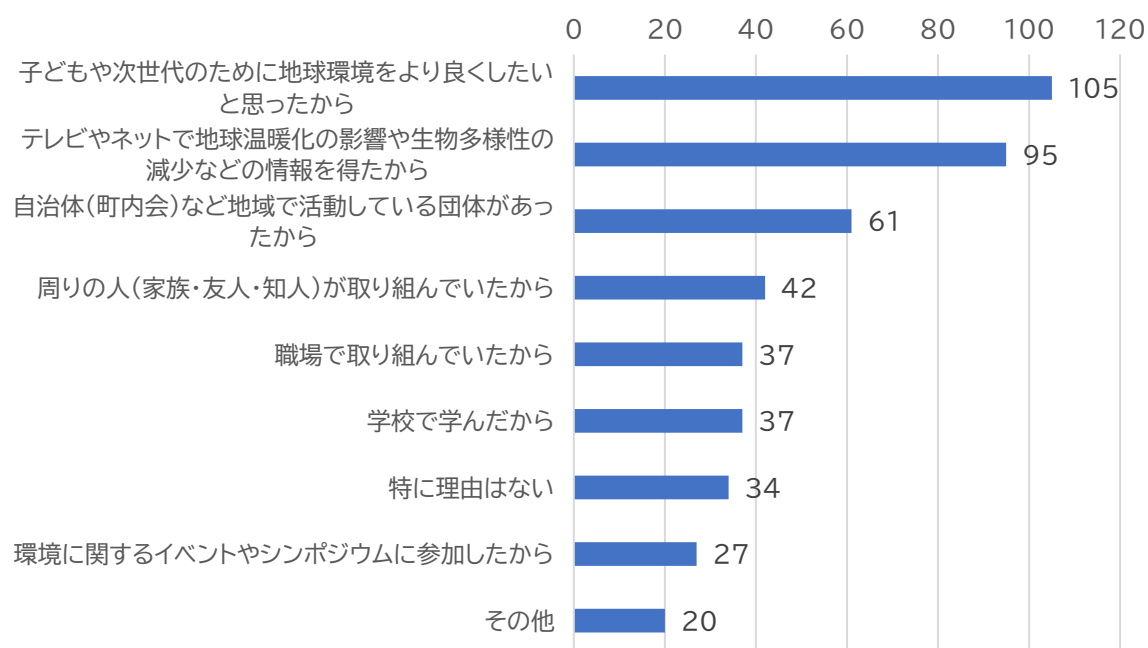
問4. 問3で「積極的にやっている」、「できるだけやっている」と回答された方におたずねします。普段の生活の中で、具体的に行っている取組を教えてください。(回答チェックはいくつでも n=231)

項目	人数	割合
油や食べかすなどを排水口から流さないようにする	158	68.4%
日常生活においてできるだけごみを出さないようにする	156	67.5%
石けんや洗剤は適正な量を使う	132	57.1%
旬のもの、地のもの(県産の木材、地元で作られた農作物など)を選んで購入する	132	57.1%
地域における環境保全のための取組(緑化、美化活動)に参加する	77	33.3%
環境に配慮した商品を選んで購入する	70	30.3%
滋賀の「環境こだわり農産物」や「魚のゆりかご水田米」のロゴマークがついた商品を選んで購入する	32	13.9%
家庭で消費しきれない未使用食品は地域の福祉施設・団体等に寄贈(フードドライブ)する	28	12.1%
琵琶湖の環境保全のための活動(ヨシ刈り、水草除去など)に参加する	21	9.1%
その他	25	10.8%



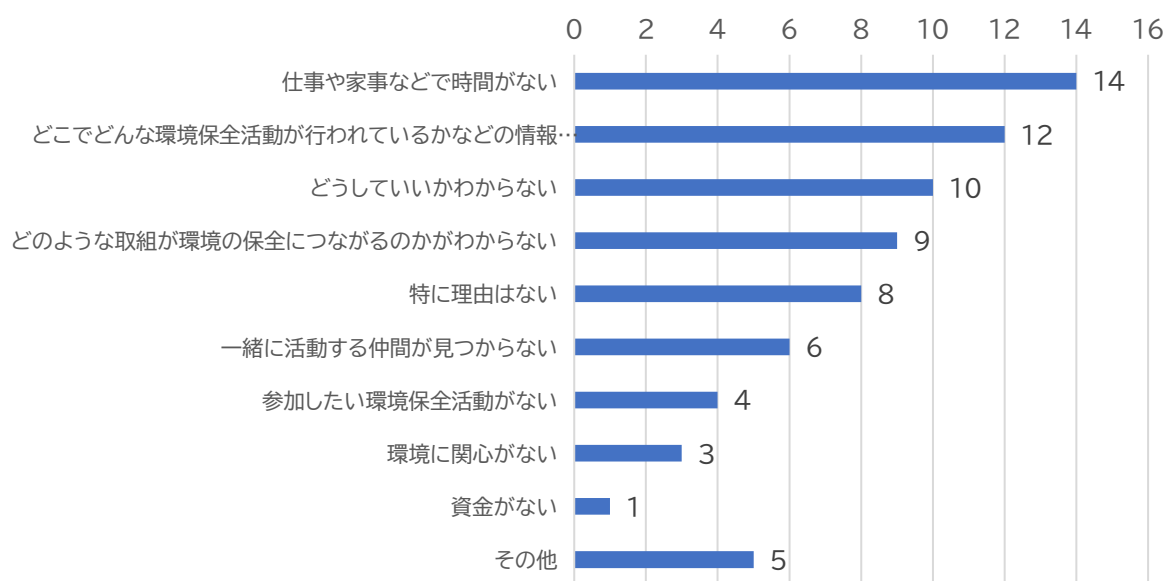
問5. 問3で「積極的に行っている」、「できるだけ行っている」と回答された方におたずねします。環境保全の取組を始めた理由を教えてください。(回答チェックはいくつでも n=231)

項目	人数	割合
子どもや次世代のために地球環境をより良くしたいと思ったから	105	45.5%
テレビやネットで地球温暖化の影響や生物多様性の減少などの情報を得たから	95	41.1%
自治体(町内会)など地域で活動している団体があったから	61	26.4%
周りの人(家族・友人・知人)が取り組んでいたから	42	18.2%
学校で学んだから	37	16.0%
職場で取り組んでいたから	37	16.0%
特に理由はない	34	14.7%
環境に関するイベントやシンポジウムに参加したから	27	11.7%
その他	20	8.7%



問6. 問3で「3 あまり行っていない」または「4 全く行っていない」と回答された方におたずねします。その理由は何ですか(回答チェックはいくつでも n=44)。

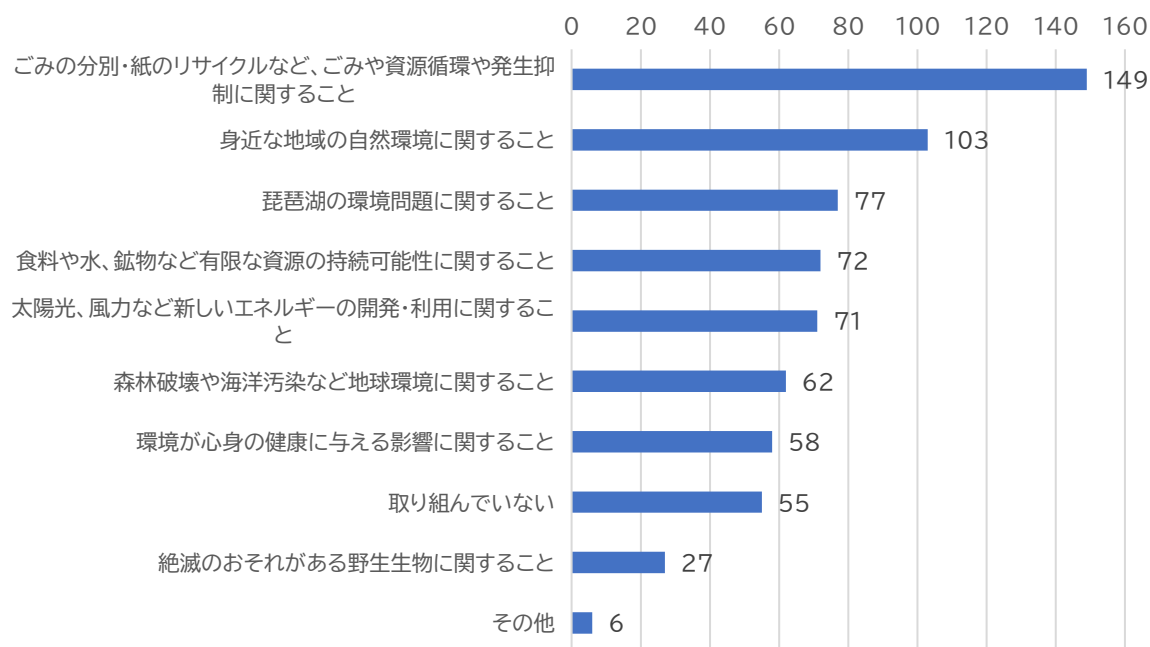
項目	人数	割合
仕事や家事などで時間がない	14	31.8%
どこでどんな環境保全活動が行われているかなどの情報がない	12	27.3%
どうしていいかわからない	10	22.7%
どのような取組が環境の保全につながるのかわからない	9	20.5%
特に理由はない	8	18.2%
一緒に活動する仲間が見つからない	6	13.6%
参加したい環境保全活動がない	4	9.1%
関心がない	3	6.8%
資金がない	1	2.3%
その他	5	11.4%



問7. あなたが日ごろ取り組んでいる環境学習の内容を教えてください。(回答チェックはいくつでも n=275)

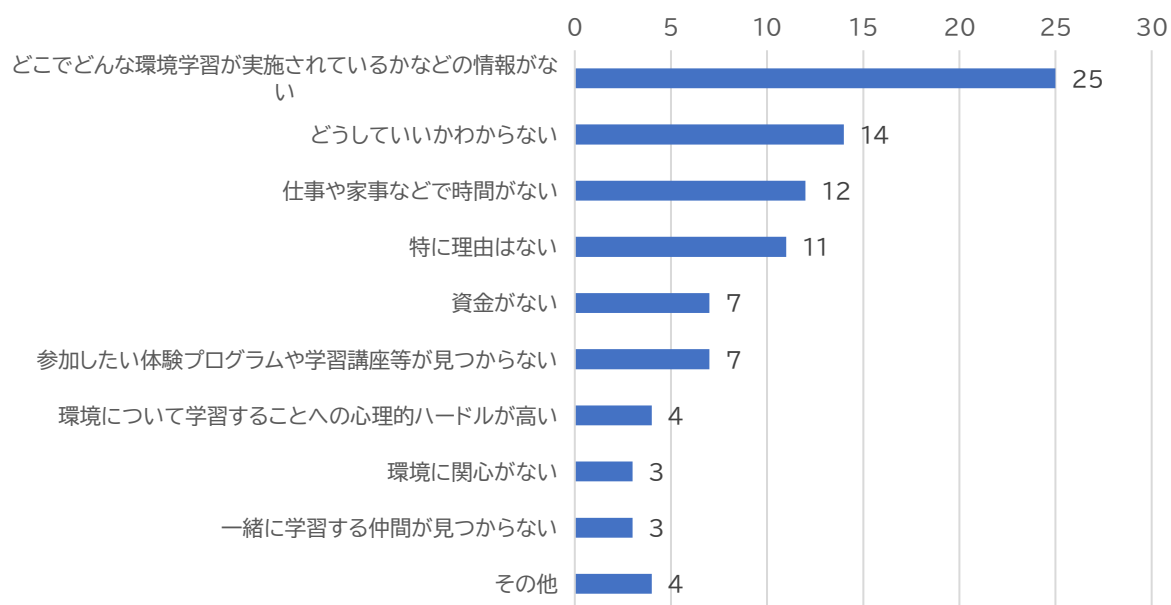
※特に取り組んでいないという方は選択肢 10 の「取り組んでいない」を選択してください。

項目	人数	割合
ごみの分別・紙のリサイクルなど、ごみや資源循環や発生抑制に関すること	149	54.2%
身近な地域の自然環境に関すること	103	37.5%
琵琶湖の環境問題に関すること	77	28.0%
食料や水、鉱物など有限な資源の持続可能性に関すること	72	26.2%
太陽光、風力など新しいエネルギーの開発・利用に関すること	71	25.8%
森林破壊や海洋汚染など地球環境に関すること	62	22.5%
環境が心身の健康に与える影響に関すること	58	21.1%
取り組んでいない	55	20.0%
絶滅のおそれがある野生生物に関すること	27	9.8%
その他	6	2.2%



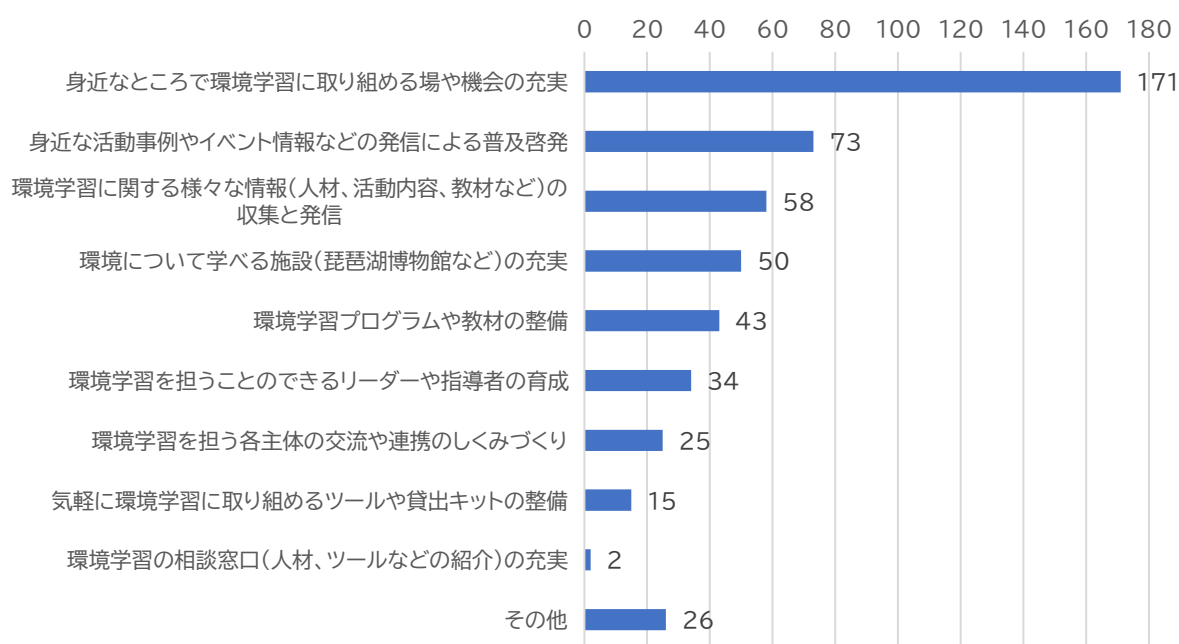
問8. 問7で「10 取り組んでいない」と回答された方におたずねします。その理由は何ですか。
 (回答チェックはいくつでも n=55)

項目	人数	割合
どこでどんな環境学習が実施されているかなどの情報がない	25	45.5%
どうしていいかわからない	14	25.5%
仕事や家事などで時間がない	12	21.8%
特に理由はない	11	20.0%
参加したい体験プログラムや学習講座等が見つからない	7	12.7%
資金がない	7	12.7%
環境について学習することへの心理的ハードルが高い	4	7.3%
一緒に学習する仲間が見つからない	3	5.5%
環境に関心がない	3	5.5%
その他	4	7.3%



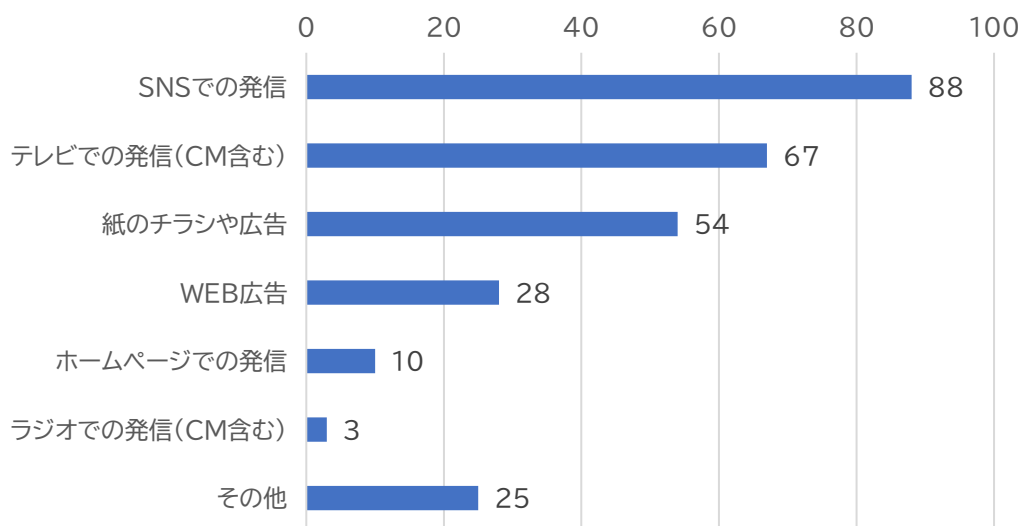
問9. 多くの人に環境学習に参加してもらうために、県が優先して組むべきだと思うものは何ですか。(回答チェックは2つまで n=275)

項目	人数	割合
身近なところで環境学習に取り組める場や機会の充実	171	62.2%
身近な活動事例やイベント情報などの発信による普及啓発	73	26.5%
環境学習に関する様々な情報(人材、活動内容、教材など)の収集と発信	58	21.1%
環境について学べる施設(琵琶湖博物館など)の充実	50	18.2%
環境学習プログラムや教材の整備	43	15.6%
環境学習を担うことのできるリーダーや指導者の育成	34	12.4%
環境学習を担う各主体の交流や連携のしくみづくり	25	9.1%
気軽に環境学習に取り組めるツールや貸出キットの整備	15	5.5%
環境学習の相談窓口(人材、ツールなどの紹介)の充実	2	0.7%
その他	26	9.5%



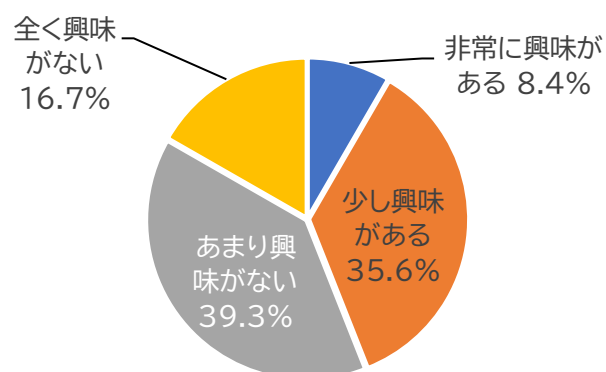
問 10. 多くの人に環境学習に参加してもらうために効果的だと思う情報発信の媒体は何ですか(一番効果的だと思うもの1つ n=275)

項目	人数	割合
SNSでの発信	88	32.0%
テレビでの発信(CM含む)	67	24.4%
紙のチラシや広告	54	19.6%
WEB広告	28	10.2%
ホームページでの発信	10	3.6%
ラジオでの発信(CM含む)	3	1.1%
その他	25	9.1%
合計	275	100.0%



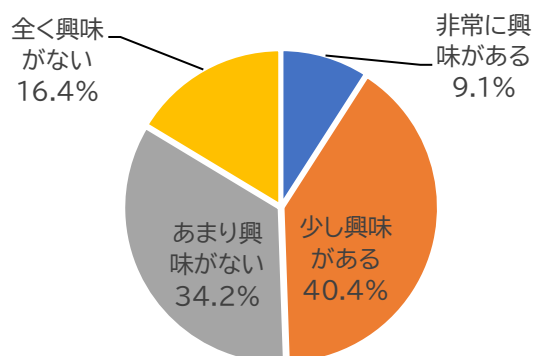
問 11. あなたは、環境学習の指導者になることに興味がありますか。(n=275)

項目	人数	割合
非常に興味がある	23	8.4%
少し興味がある	98	35.6%
あまり興味がない	108	39.3%
全く興味がない	46	16.7%
合計	275	100.0%



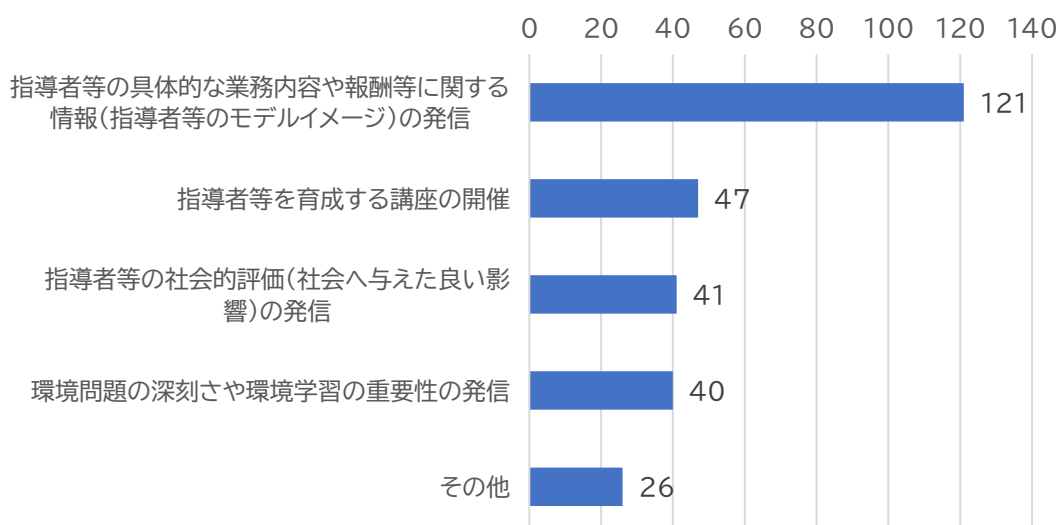
問 12. あなたは環境学習のコーディネーター(相談や調整を行う人)になることに興味がありますか。(n=275)

項目	人数	割合
非常に興味がある	25	9.1%
少し興味がある	111	40.4%
あまり興味がない	94	34.2%
全く興味がない	45	16.4%
合計	275	100.0%



問 13. 環境学習の機会を増やすにあたり、指導者やコーディネーター不足が課題になっています。環境学習の指導者等を増やすために効果的だと思うものは何ですか(一番効果的だと思うもの1つ n=275)

項目	人数	割合
指導者等の具体的な業務内容や報酬等に関する情報(指導者等のモデルイメージ)の発信	121	44.0%
指導者等を育成する講座の開催	47	17.1%
指導者等の社会的評価(社会へ与えた良い影響)の発信	41	14.9%
環境問題の深刻さや環境学習の重要性の発信	40	14.5%
その他	26	9.5%
合計	275	100.0%



問 14. 琵琶湖博物館環境学習センターが運営するウェブサイト「エコロしが」にどのような情報があるとよいと思いますか。

※エコロしがはこちら <https://www.ecoloshiga.jp/>

※すでにある情報をご記入いただいてもかまいません。

- ・特にありません
- ・大変恐縮です。「エコロしが」を初めて知りました。「エコロしが」自体を宣伝するのはいかがでしょうか。お子さんが小さい方は、学校や「うみのこ」で学ばれた子どもさん経由で知ることが出来ると思いますが、小さいお子さんがいなかったり、県外から転居された方などはなかなか知りにくいのではないのでしょうか。
- ・気軽に参加出来るボランティア情報が載っているといいと思います
- ・ポツカリと空いた休日をもて余している方にランニングのかわりくらいの気持ちで清掃活動や環境学習に参加してもらえるといいと思います
- ・琵琶湖や河川など環境の現時点の状態。
- ・一般の人(子供たちも含む)が ウェブサイトから意見や質問をするコーナーを設け専門家のみならず一般の人(高齢者等)と意見を交わす試みは如何でしょうか？
例)
 - *今年は サツキが例年になく きれいで少し早いように思えた
 - *降水量は 時間当たり とか 24時間当たり とか 降りは
じめからとか TV の放送は分からない。
(因みに 私ん家は 25mm/時間で漏れ始めます。)
- ・環境に関する求人情報
- ・「エコロしが」を見ましたが、このサイトがなぜ設立されたのかということが一切掲示されていないのはなぜなのでしょう？何か根本的なことが抜けているように思うのは私だけなのでしょうか？
- ・外来生物の駆除に関する情報
- ・現状報告、指導者不足、社会的な地位、芸能人を使つての情報発信
- ・身近な環境問題についての情報があるといいと思う。
- ・身近な生活で取り組みそうな、環境に良い行動の紹介。
- ・古代魚の繁殖状況の推移と外来魚の繁殖水位の比較データ。琵琶湖の環境美化のボランティア告知
- ・一番最初にこのサイトがどういうものなのかの説明文があると良いと思いました。
- ・今回、はじめて「エコロしが」を見ました。「琵琶湖ハンドブック」や環境学習の手引きも公開されており、環境学習に役立つと思いました。
更に必要な情報とすれば、琵琶湖や他の自然の環境が破壊されている現場の写真やライブ映像等、我々が守らなければならない状況や対比の過去の写真。および、生物の生息

数や、異常気象や赤潮の頻度等の環境破壊が実感できる統計等を掲載頂ければ良いと思います。危機感の発信が必要。

- ・環境問題に取り組んでいる団体に関する情報やボランティア以外で取り組む方策等について掲載をお願いしたい。
- ・琵琶湖に住んでいる外来種がどんな悪影響を与えているか？植物や魚たちがどれくらい減っているかをわかり易く教えてほしいです。
- ・学習検索サイトの中を、学校の環境教育を向上させるための情報コーナーと一般コーナーに分ける。指導者(先生等)が使う学習用教材(電子データなど)も掲載する。
県民に環境意識の向上を促し、地球との共生の大切さを啓発するなど、環境学習の基礎となる学習コーナーを設ける。センターによる体系的な基礎学習(個別分野ではなく全般から個別を見る)の実施を希望する。
- ・NPO 法人「環境市民」が県内の啓発団体として活躍されている印象をうけましたが、その他に同様の活動をされている団体があれば、活動内容を紹介いただきたい。また、「環境市民」の受講後の感想や、具体的に活動に繋がっているか等、フォローされた情報提供を欲しいと思いました。
- ・地域や自治会等に環境出前講座で来て頂ける情報
- ・外来動植物と固有動植物の個体数などの暦年変化とそこから見えてくる自然環境の将来。琵琶湖の水質の暦年変化とそこから見える琵琶湖の将来。
- ・ウェブサイトに向き合っている時点で相当環境学習に興味があると見受けられるので、それほどやる気のある人には責任感のある立場になってもらえるよう誘導する必要があるかと思います。なので他の指導者と交流できる集会の情報やリーダーになる流れを意識できるような活動の紹介などがあると良いのではないのでしょうか。
- ・環境学習を学んでもそれを生かせる場や情報がない。地域や大学で環境学習を終了した後、それを生かせる場所等の案内や情報を教えて欲しい。
- ・琵琶湖博物館環境学習センターのサイトには、自然や環境に興味のある人しか学べないと思える情報しか掲載されていないのではないかと感じた。だれにでも理解できるような身近な内容で、イベントや講座等を企画し、全ての滋賀県民も巻き込んで進めるべきだと思う。たとえば、積極的に外へ出向いてイベントを行うべきだと思う。
- ・「エコロシーが」の掲載内容を見させていただきましたが、対象がよく分かりません。問題意識を喚起するなら、もっとグローバルな視点での課題提起や近未来と中長期的な観点に立っての課題提供が必要かと思います。身近な県内の情報も大事ですが、それだけでなく国や世界レベルの様々な情報や課題を提起・提案することで、より多くの世代が活用できることになるのではないかと思います。サーバが遅いので役に立ちません。
- ・基本情報とT.P.Oの時勢に応じた環境問題をテレビ、新聞などを通じて県公報として放送及び記事に掲載し広く県民に知らしめることだと思います。
- ・京阪神の水がめである琵琶湖や河川の水質が汚染されない環境を守っていくのが滋賀県

の責務です。そのためには、河川への不法投棄されない河川管理がじゅうようですが、残念ながら河川管理は放棄されている現状です。ある自治会では刈り取った草や木は腐るからの理由で河川をゴミ箱のようにしています。自治会の役員の人から環境学習が必要ではないでしょうか。

- ・エコロシーがのトップページや目につきやすい所に環境学習の指導者やコーディネーター情報を載せると良いと思う。
- ・指導者やコーディネーターのことは今回のモニターで初めて知ったので、知ればやって見たいという人はいると思うので認知度をあげて欲しいと思う
- ・太陽光、風力など新しいエネルギーの開発・利用や、食料や水、鉱物など有限な資源の持続可能性、環境が心身の健康に与える影響に関することなど
- ・琵琶湖の水位・水温変化
- ・沖島は、淡水に浮かぶ島に人が暮らしており、世界的にも貴重な自然環境だと認識している。この、沖島の暮らしを見つめるところに、琵琶湖環境学習の情報は、盛り沢山である。例えば、在来魚の捕獲量の推移。これには、多種多様な自然環境破壊の原因が見えてくる。
- ・琵琶湖で釣れる魚の紹介
- ・クイズ形式で環境について学ぶページがあれば、楽しく学べると思います。(ゲームのように)
- ・琵琶湖の生物の多様性がわかる情報
- ・相互リンク！こんな魅力的なホームページの存在を今まで知りませんでした。琵琶湖博物館とか佐川美術館とか、公共つばい施設のホームページからもアクセスできれば、エコロシーがのウェブサイトにとどりつけそうです。
- ・子供が喜ぶ環境イベント(市の広報に載ってる情報)を、他市在住でも参加可能ならどんどん載せてほしいです。
- ・活動報告
- ・身近で簡単にできる環境保全の方法。どうしたら活動を継続できるか。
- ・環境がよくなっているか悪くなっているか目に見えてわからないから、何か比較できるもの。
- ・子どもと楽しみながら学べるイベントなどの情報
- ・発行減にある新聞滋賀欄ニュースにも少なさを感じながらの毎日。積極的なニュース検出努力と広く提供・広報する必要性がある。琵琶湖水位低下による「奥の洲」出現が最近の話題。例えばこれとの組み合わせ利用が有効？
- ・先日「びわこ地球市民の森」に行った。「エコロシーが」を見てそこが主目的で訪れたのではなく、琵琶湖大橋を歩いて渡る途中経路にあったから訪問したが、「市民の森」は自然を感じてハイキングするにはとてもいい場所だった。このアンケートまで「エコロシーが」を知らず、「市民の森」も知らず、自分の情報の狭さを実感したが、もっとこのウェブサイトを県民に知らしめる事がまずありきではと思います。

- ・県内の山林、琵琶湖の現状を明らかにする事が大切で、そこから、現状を改善する為の方策を考えて行く必要があると思います。
- ・地球温暖化が一番大きな問題とは理解してはいますが、ではどうしたらよいかと言ったような込み入った知識はもっていませんが、個人個人の心がけが一番大事ではないでしょうか。
- ・琵琶湖博物館環境学習センターの素晴らしい取り組みが更に充実し拡大することを望みます。滋賀県は湖北地方、湖西地方など素晴らしい自然環境の宝物を地域の方々が磨いています。滋賀県民がゴミを適当に捨てることはないと考えますが、どの道路にもポイ捨てゴミが目につきます。身近な地域でゴミ拾いの取り組みが一番で、定着していない地域に道路をきれいにする取り組みが定着するよう地域社会への情報支援が必要と考えます。
- ・近畿の水瓶琵琶湖に注ぐ川、それを支える山や野、そして源流、影響を与える気候など、絶えず変わっていくことに敏感となり、設備の整備を望みます。
- ・子供向けの情報しかないような印象あり。
- ・子供だけでなく、若者への発信も必要。
- ・生活レベルでできることの掲載。
- ・レジャー(アウトドア・キャンプ)などとの結び付け情報。”
- ・見たことがないのでわかりません
- ・イベント情報で、一日のみのもの以外で期間を設けてやるものも有るかと思います。それが一覧でわかるような情報があれば選択しやすいかと思います。
- ・地球温暖化による影響
- ・琵琶湖水質汚染
- ・限られた、しかも関心ある人だけが行く場所をいくら充実しても駄目だ。精々センターに勤める人達の活性化にしかない。
- ・サイトのトップページが地味な感じがしました。小学生の子どもでも、興味を持って自主的に検索したくなるようなページ作りが必要かと思います。子どもには、少し内容が難しいです。
- ・日々更新するのは難しいとは思いますが、最新の状況や多方面にわたる今後の課題など啓蒙的な内容の充実。
- ・「エコロシーが」のネット上での動作が遅い。サーバーや構築の仕組みの改善を希望する。イベント情報も良いが 国立環境研究が発信するような最新の技術情報をわかり易く紹介するページや読み物気楽に流し読みしても楽しい画面が欲しい。現状では再度読む気持ちにならない。どの画面からも滋賀県のホームページに遷移するボタンが欲しい。或いはその画面から滋賀県の環境に関連するページに遷移するようにはどうか。
- ・気軽に参加できるイベントの紹介を、なるべく詳しくわかりやすくして欲しい
- ・『エコロシーが』の存在ももっとアピールした方がいいと思う(私も今回のアンケートまで知らなかったです)
- ・ごみ問題やリサイクルについて学べるコーナー
- ・ゴミの分別

・リサイクル

- ・ポイ捨て、不法投棄
- ・ペットのふん被害
- ・フードロス
- ・琵琶湖の水質などに関する情報と保全の方法紹介
- ・子供でもわかる環境問題。
- ・子供が遊びながら学べる事を写真を多めに載せると良いと思います。遊んで学べる施設の一覧などあれば嬉しいです。
- ・どんな情報があるとよいかの前に、このサイトがあることを初めて知りました。内容を充実させるのも大切ですが、まずはHPリンクを含めたイベントのお知らせなどを小中学校の連絡アプリを通して周知してもらうのはいかがでしょうか。高学年の子を持つ親ですが、びわっこ大使という事業があることを今まで知らなかったり、貸し出しキットがあることも知らなかったのも、もっと早くこのHPと出会いたかったです。
- ・日本全国の環境問題とその取り組みに関する情報
- ・小学校の海の子の様に郊外授業で琵琶湖博物館学習センターで環境問題について(琵琶湖の魚についてだけでも)の学習や人に知って貰うには？を考える きっかけ場所に博物館を利用することは出来ないのか？と思う。
- ・以前参加したいと思ったことがあるのですが、子と孫は県外に住んでいるため対象外でした。滋賀県内に住んでいなくても、参加できるものがあればと思います。
- ・コロナ前ですが、写真家の今森光彦さんの昆虫の合宿に興味があり問い合わせたところ非常に高額だったため断念したことがあります。もっと安価で自然や昆虫と触れ合う親子合宿があればよいと思います
- ・電力量の削減で、一般人にはわかりにくい co2 表記では無く、具体的な数値で、自然環境に貢献したのかを示せる表現にならないでしょうか。日本は、化石燃料で電気を作り出しているが原子力などでの電気を作ることのメリットを明確にできないか。琵琶湖の水質保全のために、県民は、何をすべきか(ごみや油の廃棄などを含めて)県民だけではなく、企業など、琵琶湖の水を汚さない方法、汚れた水の水質改善方法
- ・今年中学生になる娘の親として、小学校時代に、単なる決まった額問だけでなく、もっと環境について、人間が生きていくのに大切な知識を増やせるよう指導してもらいたいと感じていました。せっかく資源豊富なびわ湖のある滋賀県に住んでいるので、うみの子とやまの子の内容をもっと濃くできればと思います。
- ・ウェブサイトを見ましたが、視覚障害者でも読めるような工夫があつて素晴らしいと思いました。しかし、聞こえない人が環境学習、琵琶湖の清掃、ヨシ刈り体験などの参加を申し込もうとむとき、どのように手話通訳者、要約筆記支援なども併せて申し込めるようになってほしいと思います。大きなイベントでも申し込めば手話通訳を配置しますよ、というような welcome 感も出してほしいです。

- ・イベント情報や、環境のためにできることをわかりやすくまとめたもの
- ・子供が見て興味を引く内容にすべき。今は大人向けに思われる
- ・小中学生から高校生まで、環境保全について継続した学びの機会を作る。
- ・琵琶湖や環境には関係が全くないかもしれませんが、電車や蒸気機関車や新幹線の乗り物系の情報・イベント・ブースがあったら、面白いかと思います。
- ・4歳の子供(男の子)がいますが、興味があるのが、鉄道系が多く、鉄道系の情報があれば嬉しいです。
- ・エコロシーがを知りませんでした。勉強不足ですみません。
- ・環境悪化原因での検索機能、対策などが容易に検索できる。
- ・既に行われた環境学習の実施内容
- ・環境について学べるようなクイズ形式などのコンテンツ。環境学習ができる施設の紹介
- ・このアンケートで初めてエコロシーがのホームページを拝見致しました。参加して勉強したいと思っています。
- ・環境学習の方法についての知恵袋や実際に過去の良い事例などがあると良いのではないかと感じました。また、環境についての最新情報やアップデート情報なども見れると学習の際の話題にもなりやすいのではと感じました。募集情報のところはデフォルトで締切が早い順に並んでる方が良いと思いました。
- ・あることを知らなかった
- ・出張してほしい！図書館の本バスマいに、調査道具や指導者が出張で学校に来てほしい。
- ・正直甲賀地域になると琵琶湖は滅多にみるものではないので、水質や琵琶湖保全はピンとこない。琵琶湖博物館も遠足で行く程度(それほどの距離)なので、いくらサイトでこんなことあるよ！してるよ！といわれてもなかなか子供が触れることができないなど。
- ・琵琶湖富栄養化防止条例など過去の取り組みと成果
- ・滋賀だけでなく近畿地方全体の地質情報、どのようにして琵琶湖を含む現代の近畿地方ができたのか、河川の変遷
- ・ウェブサイト「エコロシーが」は、今回のモニター調査で初めてその存在を知ったが、まだまだ県民の認識は、筆者も含めて低いと思う。まずは、琵琶湖博物館環境学習センターがその情報・存在をアピールすることから始めるべきと思います。
- ・1 琵琶湖の水質汚濁防止等の取り組み 2 湖北と湖南の水質の変化 3 オオバナミズキンバイ、オオキンケイギクなど、外来植物の繁殖状況(広がり・防止対策)
- ・安全対策的な内容(COVID-19等)や、問い合わせフォーム(追加情報や質問を受け付けるもの)
- ・参加者同士が交流できるような、コミュニティーフォーラムもあれば良いと思いました。
- ・イベントレポート(同じくらいの家族構成で参加できるか検討できるため)、指導者側(ボランティアさん)に小児性犯罪者が含まれないよう取り組みがされていること
- ・上記2つは家族参加するイベントでできるだけチェックしている2点です。

- ・これは個人的な運用の希望ですがイベント通知 LINE や google カレンダーなどで家族カレンダーに取り組めると嬉しいです。
- ・そのようなサイトがあることを初めて知った。
- ・サイトがある事自体をまず広報することで、情報を手に入れる選択肢を増やすべき
- ・工場畜産が環境に与える影響や畜産動物福祉についての展示